

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)		-	-
		一般小売店〔鮮魚〕 (役員)	・どうしても観光客依存になってしまうが、今後は大口のコンベンションが予定されており、ゴールデンウィークや観光シーズンによって更に売上の増加が期待できる。
		一般小売店〔書籍〕 (従業員)	・若干ではあるが、来客数が伸びているのは良い傾向である。景気は回復気味であると考える。
		百貨店(売場主任)	・前年は4月中旬に発生した熊本地震の影響で、4月後半～6月にかけて消費マインドが冷え込み、売上高が低迷した。本年はその反動で、前年超えで推移していくと期待している。
		自動車備品販売店(役員)	・車販売が好調に推移している。車用品は以前の価格重視から品質で選ぶ客が多くなったため、購入単価が向上している。集客も前年から伸びており、徐々に景気上昇を肌で感じる。
		タクシー運転手	・これからは観光客も増えることから、タクシー利用が伸びると見込んでいる。
		通信会社(役員)	・新築での通信契約の問い合わせが増えている。ボーナス商戦を迎える頃には、更に問い合わせや契約数が増えることが期待できる。
		通信会社(営業担当)	・新商品の販売が予定されており、必然的に販売台数が伸びると考える。
		テーマパーク(役員)	・国内旅行においては、団体旅行の先行予約がややプラス傾向となっている。さらにインバウンド客の動きが順調になりつつあり、個人客は動きが鈍いものの、全体としてはやや良くなると考える。
		住宅販売会社(従業員)	・土地需要が増えた後は建物の需要が続いてくる。土地の問い合わせは非常に増えており、これからの受注がとても期待できる。また、中～高級の客層も出てきたことで契約件数、契約高共に増加が期待できる状況になってきた。
		商店街(代表者)	・消費者の儉約ムードが顕著に見られ、購買意欲が感じられない。ヒット商品もなく、この傾向は続きそうである。
		商店街(代表者)	・市の事業に基づいて新しくできた専門学校に対して、中心市街地利用の情報発信がされる。商店街としては企画が生かせるよう協力していきたい。
		一般小売店〔精肉〕 (店長)	・近隣に大型商業施設ができたが、少し落ち込んだとしても横ばいのままで推移すると考えている。
		百貨店(営業担当)	・ゴールデンウィークや母の日といったイベントを活用して数字につなげていきたいが、客の買い方がしばらくずっと変わらないことから、依然として不透明なままだと考える。
		百貨店(販売促進担当)	・一部のコンビニエンスストアでプライベートブランド商品の値下げが発表されるなど、節約志向に拍車がかかると考える。
		スーパー(店長)	・良くなる理由が見当たらない。
		スーパー(総務担当)	・人手不足は現在も続いている。既存の従業員の残業が増えているが、景気に連動するかといえば関係は薄く、当面は現状のままと考える。
		スーパー(総務担当)	・4月の賃上げ状況は前年を下回っており、景気が良くなるとは考えられない。
		スーパー(店舗管理)	・競合出店により利用者が分散し、それが定着しつつある。各店共に、これまで以上の販促強化を実施してくると考えると良くなる要素は見当たらない。
		スーパー(統括)	・来客数や売上の傾向は変わらない。
	コンビニ(経営者)	・主力商品である弁当や調理麺、その他ファーストフードといったメインの売上がほとんど伸びておらず、サラダや健康食品のパンなどが動いているといった状況である。主力商品が伸びていかないと、今後の見込みは明るくないと考える。	
	コンビニ(経営者)	・近辺にある、同業の三大チェーンがそりい踏みという構図が崩れない限りは、大きな変化が起こることは考えにくい。	
	衣料品専門店(経営者)	・衣料品の売上には全く底打ち感がない。当面は厳しい状況が続いていくものとみている。	
	家電量販店(店長)	・先行きは猛暑になるか次第だが、平年並みとなりそうである。	
	乗用車販売店(経営者)	・4月からの自動車関係税制改正の影響による駆け込み需要もなく、しばらくは客の動きは変わらない。	
	乗用車販売店(従業員)	・現状では良くなる兆しを感じられず、今後も変わらない。	

	住関連専門店（役員）	・耐久消費財について、購買の二極化が顕著に現れている。また、販売数量が回復傾向にあっても、直近の傾向である1品当たりの単価減少が影響し大きな伸びはみられない。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・もう何年も景気の悪さが続いている。今後良くなるという期待は全くない。
	その他小売〔ショッピングセンター〕	・母の日ギフト、初夏の衣料品、行楽用品などの動きに期待しているが、出足は低調である。割引企画やポイント企画などの集客イベントを強化しているが弱いままである。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・来客数は順調に推移しているが、全館の売上でみると衣料品が苦戦して、その他業種がカバーする流れは今後も継続するとみている。天候要因などの大きな理由がなければ変わらないと考える。
	一般レストラン（店長）	・しばらくは、現状が続くと見込んでいる。
	観光型旅館（経営者）	・5月はゴールデンウィークや大型団体の予約が入っているが、6月以降の予約状況が例年よりも鈍く、先行きが心配である。
	観光型旅館（スタッフ）	・予約状況は前年を下回る水準で推移している。直前での予約受け入れ対策を実施している。
	旅行代理店（所長）	・近県でオープンしたテーマパークは特に反響もなく、販売量の動きは変わらない。
	タクシー運転手	・過去にないような、4～5か月先の観光予約が入ってきている。
	通信会社（職員）	・年度末需要が一段落し、しばらくは横ばい状態での推移が見込まれる。
	通信会社（営業担当）	・客の様子からは購買意欲に大きな変化がみられない。
	競輪場（職員）	・来場者数、売上共に変化がなく、上昇も下降もする気配がみられない。
	その他レジャー施設（総支配人）	・大人会員の獲得競争が今まで以上となっており、会費割引セールも出てきている。子供会員に対しては、できるだけ低年齢から入会のアプローチを徹底していくしかなさそうである。
	住宅販売会社（従業員）	・受注状況によって業績が良くなる可能性も考えられるが、変わらない見込みである。
	住宅販売会社（従業員）	・今後、住宅建築希望者が減ってくる状況を踏まえると、企業の社屋や介護系の施設等にも力を入れていく必要がある。
	住宅販売会社（営業）	・業界内に景気を上下させるような要因が見当たらないため、現状の状況が続くものと推測している。
	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・業界の需要期が過ぎ、状況が不透明である。
	コンビニ（店舗管理）	・深夜帯の売上が年々下がっている。近隣の飲食店等も営業時間が早まっている様子である。この傾向が改善する気配を感じない。
	衣料品専門店（経営者）	・景気判断の参考として話を聞いているのは、法人であれ個人の会社であれ管理職の人達である。窓口の人やパートの人たちに聞いてみると、景気について少し見方が違っているようである。前者が楽観、後者が悲観という違いがあるようだ。
	高級レストラン（スタッフ）	・ゴールデンウィークから夏休みにかけて、県外からの団体客比率が上がる時期である。しかし、2年前の北陸新幹線開業から一服した感じがあり、現在の受注は例年の80%ほどとかなり苦戦している。
	一般レストラン（統括）	・人手不足や原料の仕入価格アップに対して、中長期的な有効策がない。このような状況下において、突発的な対策が売上高の維持につながったとしても利益は残らない。
	スナック（経営者）	・国内外で緊張状態が続く中では、このままの楽観的な見方ができない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・5月の予約状況は前年並みとなっており、3～4月に比べ伸びが鈍化している。
	通信会社（役員）	・前年までは、契約数の増加はわずかずつではあるが増える傾向にあった。しかし、今年に入って伸び悩んでおり、この変化は今後しばらく続くとみている。
	美容室（経営者）	・朝鮮半島情勢の影響がどうなるかわからない。
	x	-
企業動向関連		-
(北陸)	プラスチック製品製造業（企画担当）	・軸足を置く住宅市場について、新設着工戸数の推移は堅調であるが、床面積は厳しい状況にある。その一方で、リフォーム市場や非住宅市場は今後上昇が見込まれ、全体ではやや良くなると期待する。

	一般機械器具製造業 (総務担当)	・国内は中小企業等経営強化法の措置により、また米国市場は減税やインフラ投資への期待の高まりによって、受注は伸びると期待している。
	通信業(営業担当)	・5月30日からの個人情報保護法の改正によって、セキュリティ商材に対する客の意識が高まり、購買需要が膨らんでいる。
	司法書士	・北陸新幹線延伸による再開発や新店舗等で、主要駅周辺では不動産取引の動きがある。
	税理士(所長)	・全体的にマンパワー価値の見直しが始まっている。労務費の1人当たりの単価や最低賃金の引上げによって、給料が上がってくる期待感がある。給料が上がると、現在厳しい小売、卸売関係が好転してくるのではないかと期待する。
	食料品製造業(経営企画)	・直近までの状況が夏頃まで続くだろうと考える。
	繊維工業(経営者)	・衣料関係が先行き大きく回復すると考えられない。したがって、低位安定というところであろう。
	繊維工業(経営者)	・国内消費が盛り上がり欠けるとともに、輸出関連については為替の影響もあり厳しい先行き見通しである。在庫調整が一段落し、防塵衣用や白衣用といったユニフォーム分野と自動車内装用等で堅調な受注が期待できる。
	金属製品製造業(経営者)	・2~3か月先の受注の入り具合をみて、変わらないと判断した。
	一般機械器具製造業 (経理担当)	・受注は好調を維持している。特に欧州向けが好調なことから、英国のEU離脱問題等で今後のEU各国の政治動向が力ギとなるとともに、地政学リスクから先行きの不透明感が強まって不安要素となっている。
	精密機械器具製造業 (役員)	・顧客からの受注状況が、今までより活発化してきているようにみえる。しかし、まだ確信はなく強い動きだと考えられない。
	建設業(役員)	・首都圏を除き、受注量確保を目的とした価格競争が一段とし烈になると考えられる。先行きの受注環境は更に厳しさを増すとみられる。
	輸送業(配車担当)	・軽油価格が前年と比べて上昇している。燃料費は増えており、今後更に上昇となると収益に影響する。
	金融業(融資担当)	・建設関係は人手不足が深刻化しており、工事受注は厳選して入札している。売上を増加したいが受注ができないとの声を聞いている。
	金融業(融資担当)	・特に飲食業等のサービス業の取引先において、従業員確保がますます厳しい状況となっている。営業に影響が出てきているところもある。需要は依然として好調であるが、人材や資材の供給面が足を引っ張り、景気に水を指すのではないかと危惧している。
	不動産業(経営者)	・2か月くらい先までは、今月の動きと同等の動きが出ると考える。法人からの問い合わせは少し鈍っているものの、個人客の問い合わせが結構あることから同じ動きになると見込んでいる。
	新聞販売店[広告] (従業員)	・4月の売上も前年比を下回った。特に、衣料品やホームセンター等の量販店からのチラシ出稿が思わしくない。まだまだ購買力を伴っていないようである。
	建設業(経営者)	・地元の役所からの発注工事が、前年度はその前の年より減少した。この傾向が本年度も続くともみている。
	輸送業(配車担当)	・ドライバー不足が深刻となっており、仕事が受託できない状況になりつつある。
	x	-
雇用 関連 (北陸)		
	新聞社[求人広告] (担当者)	・求人広告に関しては、効果検証のヒアリングが前年と同様にあまり芳しくない。この状況下であっても求人続ける状況こそが景気の拡大期であると考え。
	職業安定所(職員)	・今のところ景気が減速しそうな理由が見当たらない。
	民間職業紹介機関(経営者)	・新年度事業がスタートし、ゴールデンウィークにかけて行楽や祭りなどが続くため、商売は活発化してくる。雇用の増加につながると期待している。
	人材派遣会社(役員)	・年度替わりで役所関係の需要が増えているが、派遣スタッフの不足で苦しんでいる。
	求人情報誌制作会社 (編集者)	・4月は掲載件数が増えたが、引き続き増える要因が見当たらない。
	職業安定所(職員)	・求人数の増加に対して求職者数の減少が続いている。雇用情勢は改善が続くとみられるが、人手不足の影響等で業績の良い企業からも先行きを不安視している声が聞かれる。

	職業安定所（職員）	・事業主の採用意欲は顕著に表れている。その反面、若い人、技能者、経験者など、求人者なりに要望を打ち出してきている。その中で就職が容易に進むのは一部のようになる。その他の人たちについては、引き続き相談を重ねていく必要があるのではないか。ただし、求人数は増えており今後の景気については変わらないと考える。
	学校 [大学] （就職担当）	・売手市場の傾向は、製造業やIT関連企業を中心に続いている。採用試験はこれから本格的になるが、前年より企業からの内々定は早まっている。
	-	-
x	-	-